

# 千葉市感染症発生動向調査情報

2015年 第23週 (6/1-6/7) の発生は？

## 1 定点報告対象疾患(五類感染症)

報告のあった定点数		23週	22週	21週	20週
小児科		18	17	18	18
眼科		5	5	5	5
インフルエンザ*		28	26	27	27
基幹定点		1	1	1	1

上段:患者数  
下段:定点当たりの患者数  
「定点当たりの患者数」とは  
報告患者数/報告定点数。

定点	感染症名	千葉市					千葉県
		注意報	6/1-6/7	5/25-5/31	5/18-5/24	5/11-5/17	5/25-5/31
			23週	22週	21週	20週	22週
小児科	RSウイルス感染症		0	1	1	2	3
	咽頭結膜熱	○	25	3	7	7	105
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		52	60	45	61	482
	感染性胃腸炎		111	102	113	93	757
	水痘		6	12	13	5	58
	手足口病		23	23	10	13	65
	伝染性紅斑		20	16	28	17	137
	突発性発しん		22	25	26	17	100
	百日咳		1	0	0	0	1
	ヘルパンギーナ		0	3	0	2	22
	流行性耳下腺炎		10	3	13	7	59
インフル	インフルエンザ*(高病原性鳥インフルエンザを除く)		1	1	0	3	43
眼科	急性出血性結膜炎		0	0	0	0	1
	流行性角結膜炎		2	4	4	3	26
基幹定点	細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌性髄膜炎を除く)		0	0	0	0	0
	無菌性髄膜炎		0	0	0	0	2
	マイコプラズマ肺炎		0	0	0	0	1
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		1	0	0	0	0
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		1	0	0	0	1

★★:流行中 ★:やや流行中 ◎:増加 ○:やや増加 →:変化なし ↓:やや減少 ↓↓:減少

## 2 全数報告対象疾患(8件)

病名	性	年齢層	診断(検査)方法	病名	性	年齢層	診断(検査)方法
結核	男性	60歳代	病原体等の検出	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	男性	70歳代	菌の検出及び薬剤耐性の確認
結核	男性	70歳代	病原体等の検出				
結核	男性	70歳代	病原体遺伝子の検出	後天性免疫不全症候群	男性	50歳代	血清抗体の検出
結核	女性	50歳代	IGRA検査等	後天性免疫不全症候群	女性	40歳代	血清抗体の検出
結核	女性	70歳代	病原体等の検出	-	-	-	-

・結核5件(93)、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1件(3)、後天性免疫不全症候群2件(3)の報告があった。

※ ()内は2015年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

# 定点当たり報告数 第23週のコメント

<咽頭結膜熱>前週より増加し1.39となった。過去10年の同時期と比べると最多。

## ■ トピック ■

### <咽頭結膜熱>

全国レベルは、過去8年間の同時期と比べると最多となっています。都道府県別では、新潟県、北海道、島根県の順に多く報告されています。千葉県は全国レベルとほぼ同レベルとなっています。千葉市の2015年第23週は、前週より増加し1.39となり、過去10年の同時期と比べると最多となっています。区別の発生状況では、緑区(2.25/定点)、花見川区(1.5/定点)、若葉区(1.5/定点)の順に多く発生が報告されました。今シーズンである2015年第1週から2015年第23週現在の累積報告数(n=117)によると、性別では男性が57.3%(67名)、女性が42.7%(50名)で、年齢階級別では1歳(22.2%:26名)、3歳(15.7%:24名)、4歳(14.5%:17名)の順に多くなっています。

